

〈解答〉

- ① 1 ア、ウ（順不同・完答）
2 クーリング・オフ（制度）
3 製造物責任〔PL〕法
4 流通
5 記号：エ
理由：〔例〕男女の賃金は同一であることが定められているから。（完答）
6 配当
7 イ

配点 ① 1, 5, 6 は各 2 点, 他は各 1 点 10 点満点

〈解説〉

- ① 1 支出のうち、衣食や娯楽、教育、医療など、生活に必要な財やサービスに対する支出が消費支出である。クレジットカードで買い物をして消費支出であることは同じである。これに対し、税金や社会保険料の支払いなど、商品購入とは関係なく、避けられない支出を非消費支出という。また、一般に、収入から消費支出と、税金などを差し引いた残りを貯蓄という。
- 2 クーリング・オフとは、「頭を冷やして考え直す」という意味で、訪問販売などによって、消費者が契約をした場合に、一定の期間内であれば、無条件に契約を取り消すことを業者に要求できる制度である。
- 3 製造物責任法〔PL法〕の制定で、消費者が商品の欠陥によって身体や財産に損害を受けたときに、消費者が製造業者の過失を証明しなくても、賠償を請求できるようになった。
- 4 工場や産地で生産された商品を購入するまでの流れを流通という。その中心となる商業は、商品を消費者に売る小売業と、生産者から商品を買ひ、小売店に売る卸売業からなる。いくつもの卸売業者を経由すると、その分時間や費用がかかり費用は商品の価格に上乗せされる。そのため、小売店や消費者を、生産者と直接結びつける動きも盛んである。
- 5 日本国憲法で保障されている労働基本権を守るために、労働基準法などの法律が定められている。人として生活するのにふさわしい労働条件で働けるように、賃金の最低基準や労働時間などの基準が決められ、時間外労働や休日労働には制限が設けられている。第 4 条は男女同一賃金の原則で、「使用者は、労働者が女性であることを理由として、賃金について、男性と差別的取扱いをしてはならない。」と明記している。
- 6 株式会社は、株式を発行して集めた資金をもとに設立され、株式を引き受けて出資した株主は、出資額に応じた配当を受け、会社の損失については有限責任を負う。
- 7 ワーク・ライフ・バランスは、「仕事と生活の調和」と訳され、国民一人一人がや

りがいや充実感を持ちながら働き、仕事上の責任を果たすとともに、家庭や地域生活などにおいても、人生の各段階に応じて多様な生き方が選択、実現できることを指す。この実現のために、育児・介護休業法などが定められている。